



7 平都第 2 5 7 号

令和 8 年（ 2 0 2 6 年 ） 1 月 2 3 日

平塚市住居表示審議会
会長 中村 隆志 様

平塚市長 落合 克宏

今後の住居表示の検討に向けた考え方について（諮問）

本市では住居表示の整備を平塚駅周辺部から取り組んでおり、住居表示整備区域が徐々に拡大し、市街化区域の約 8 割が完了したところです。現在は、旭地区第 3 次（高村・出縄・根坂間・公所）について、令和 1 0 年度（予定）の整備に向け、地元検討会による検討等を行っています。

今後の住居表示整備の検討着手候補区域は、現段階で具体的な区域名が挙げられないことを踏まえ、平塚市住居表示審議会規則第 2 条の規定に基づき、次のとおり諮問いたします。

1 諮問事項

- ・ 検討着手候補区域は、市街化形成などが進んでいる市街化区域としたい。
- ・ 市街化区域に隣接する市街化調整区域のうち、建物が多い範囲などについては、必要性や効果などから総合的に扱いを判断していくこととしたい。
- ・ 進め方は、既に地域コミュニティが形成されていることから、主となる連合自治会等との説明等から始めることとしたい。

なお、説明主旨には住居表示の整備によるメリットだけでなく、デメリットも丁寧に説明していきます。

- ・ デジタル化や社会の変化が見込まれることから、住民の負担軽減方策の情報収集や法制度の研究などを行うこととしたい。

以 上